

なんのマークかわかりますか？

私たちの暮らしの中には、たくさんのマークがあります。私たちが安心して商品を選ぶための目安や、品質表示や認証などのマークが役に立っています。一緒にマークの勉強をし、賢い消費者になりませんか。下記には、ほんの一例を掲載しました。

マークと説明文を合わせて結びつけてみてください。正解は11月号に掲載します。

例



⑩

①

苫小牧市副市鳥 とまチョップ



①

ア

有機JASマーク 有機食品のJAS規格に適合した生産が行われていることを登録認定機関が検査し、その結果、認定された事業者のみが有機JASマークを貼ることができます。



②

イ

フェアトレードとは直訳すると「公平・公正な貿易」。つまり、開発途上国の原料や製品を適正な価格で継続的に購入することにより、立場の弱い開発途上国の生産者や労働者の生活改善と自立を目指す「貿易のしくみ」をいいます。



③

ウ

エコマークは、環境保全に役立つと認められた商品についています。私たちが買い物をするときに、その商品がエコなものだと一目でわかる目印となります。厳しい審査基準をクリアした商品だけにつけることができる信頼の環境ラベルです。



④

エ

イヤヤンは「泣き寝入りは超いやや！」が口癖の蝶々です。全国を旅して危険な製品でケガをした人や強引な勧誘に困っている人を見かけると、消費者ホットライン188を教えてください。188にダイヤルし、問題を解決出来た人が、蝶のように羽ばたく姿を見るのが大好きです。



⑤

オ

道産へのこだわりに加え、製造方法などに関する厳しい基準をクリアし、食味検査にも合格した北海道トップブランドの道産食品で認証機関に認証された道産食品につけられるマークです。



⑥

カ

道産原材料を使い、道内で製造されたこだわりの加工食品で、登録機関に登録された食品につけられるマークです。